

1-1.病床稼働率（一般病床）

項目の解説

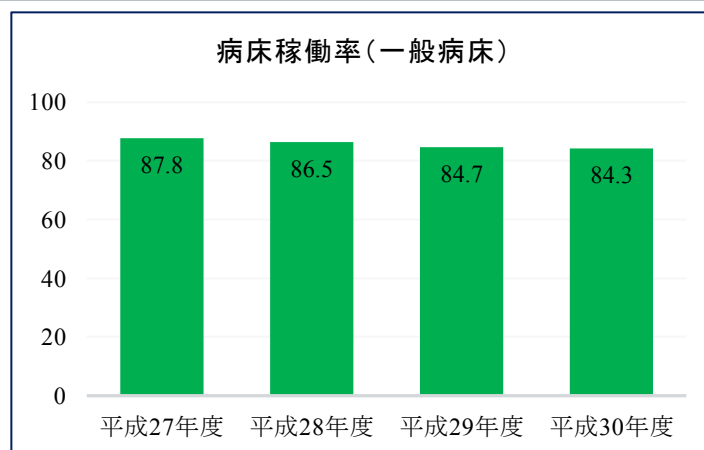
一般病床の運用に関する効率性を表す指標です。ただし、急性期医療を担うために、高度救命センターの機能における空床確保も含め、常に利用可能な病床を提供する必要もあるため値の解釈には注意が必要です。病床稼働率が高いことは、ベッドを効率的に運用していることを表しています。

算式

$(\text{「入院患者延べ数」} \div \text{「延稼働病床数」}) \times 100$

当院の実績

平成 30 年度	84.3%（年間）
平成 29 年度	84.7%（年間）
平成 28 年度	86.5%（年間）
平成 27 年度	87.8%（年間）



定義

当該年度 1 年間の、一般病床における病床稼働率です